

(2021年)

(いしばじ)

11/17(水)「五個荘石馬寺地区を歩こう」

7キロウォークを実施しました。

今回は、滋賀県や県のスポーツ協会からなる県民総スポーツの祭典に合わせて行ったもので、県内から41人が参加。歩くだけでなく、あられ製造の工場見学や近江商人を題材にしたビデオ鑑賞と盛り沢山内容で行いました。

絶好のウォーキング日和に恵まれたこの日、午前9時に五個荘地区の『ぷらざ三方よし』に集合。



まず、水路に泳ぐ錦鯉を見ながら白壁・舟板張りの土蔵が続く金堂の近江商人屋敷の町並みを散策。



一路、石馬寺地区へ。



4月のお祭りで近江商人の旅姿も見られる大城神社にも立ち寄りしました。



石馬寺では、あられの製造販売を行う七福堂製菓を訪れ、工場や庭園の紅葉を見学。



地元のケーブルテレビの取材を受けました。



敷地内には買い手よし・売り手よし・世間よしの三方よしを伝えた江戸時代中期の近江商人「中村治兵衛」屋敷跡があり、黄色く色づいたイチョウの大木は見ごたえがありました。



川並地区の福応寺で昼食休憩。



『ぷらざ三方よし』の玄関前で記念撮影

深まりゆく秋の風景を満喫しながら約8,000歩の行程を全員元気に歩き通しました。ウォーキングの後『ぷらざ三方よし』の館内で『てんびんの詩』を鑑賞。裕福な環境に育った少年が家訓により天秤棒を担いで鍋ぶたを売り歩きたくましく成長する姿を描いたもので、全国で活躍した近江商人の原点を知ることになりました。



次回のウォーキングは、
来春♪♪♪
(行先は検討中です)

NPO法人
能登川総合スポーツクラブ